

令和5年度 第3回

逗子市子ども・子育て会議
会議録

令和5年9月22日開催

令和5年度 第3回逗子市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和5年9月22日（金）午後1時30分から

2 開催場所 逗子市役所5階 第3会議室

3 出席者

（1） 委員（名簿順）

豊田委員、清水委員、市川（悟）委員、渡部委員、市川（由）委員

渡邊委員、森委員、横地委員、寶川委員、小野委員 以上10名

（2） 事務局

福井教育部担当部長（子育て担当）（教育部次長（子育て担当）事務取扱）

子育て支援課（伊藤課長、中川担当課長（青少年育成担当）、鈴木係長、稲垣主事）

保育課（市川課長、梶山副主幹（保育係長事務取扱））

4 欠席者 横山委員、小関委員、新納委員、山岡委員

5 同席者 ランドブレイン株式会社（逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施及び集計分析業務受託業者）：伊藤都市政策グループ担当チーム長 鈴木地域経営チーム主任

6 開催形態 公開（傍聴者1名あり）

7 議 題

子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について

8 配布資料

次第・席次表・委員名簿・意見書

資料1 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案
(未就学児調査)

資料2 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案(小学生調査)

資料3 子どもの生活実態に関するアンケート調査のお願い(中学生、高校生調査)

資料4 サービス提供事業者等 現況・意向調査

資料5 平成30年度子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート 案
(未就学児調査)

資料6 平成30年度子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート 案
(小学生調査)

資料7 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について

参考資料 こども基本法の概要(地方公共団体関係部分)

令和5年度 第2回逗子市子ども・子育て会議 会議録(案)

9 議事概要

開会

- ◆ 委員10名が出席。「逗子市子ども・子育て会議条例」第5条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを報告。
- ◆ 同条例第5条第1項の規定に基づき、会長を議長とする。
- ◆ 傍聴者1名途中入場。
- ◆ 会議録署名委員 会長、6番渡部委員、14番小野委員

議題 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について

【寶川議長】

事務局より説明願う。

【事務局（鈴木係長）】

今回は、資料1及び資料2のアンケート案の内容について議論いただく。実施理由や実施方法等は、資料7に記載されているとおり。資料5及び6については、前回のアンケートとなっており参考に配布した。

【寶川議長】

事務局から説明いただいた内容について、何か質問や意見はないか。では私から質問すると、未就学児の対象者を無作為で抽出とあるが、何人の中の1,000人になるのか。

【事務局（鈴木係長）】

無作為としているが、逗子市の未就学児の人口でいうとほぼ全員が対象になる。小学生の調査の方も同様である。

【寶川議長】

調査対象を小学生は1,800人、中高生は800人としている根拠は何か。

【事務局（鈴木係長）】

小中学生については、前回と同様の人数としている。また高学年は受験や卒業が近いこともあり、それぞれ対象には入れていない。

【市川委員】

中高生への調査方法がスマホのQRコード機能を使う等WEB回答になっている。施設に入っている中高生はスマートフォンを持っていないという報道がある中で、市が全ての生徒にPCを個人貸与していれば問題ないが、そういったことはあるか。もしくは、全市民がPCを持っていることを確認されているのか。

【事務局（鈴木係長）】

市から全生徒に対してPCや携帯を貸与しているということはない。個人的にPCや携帯を持っているかによる。

【市川委員】

一般的な家庭はほぼ持っているので問題ないと思うが、養護施設などに入っている方は非常に生活が厳しく、スマートフォン等を持っていない方もおり、授業等も苦労していると聞いている。

【事務局（伊藤課長）】

PCや携帯を持っていないといった個別のケースについては、紙ベースの物も用意し、回答できるようにする。回答するかしないかは生徒の判断にしたいと思う。

【事務局（鈴木係長）】

まず、前回のアンケート内容である資料5・6と今回のアンケート案である資料1・2を比較して変

更になった点の説明をする。まず資料1と6を比較し、問8－1「4 市の親子遊び場の施設」を「4 子育て支援センター」に「8 公民館」を「8 小坪コミュニティセンター・沼間コミュニティセンター」にそれぞれ変更しており、「10 親子遊びの場（小坪・沼間）」と「11 ほっとスペース」を追加した。資料2と6では、資料6の問16－1を削除し、資料2のとおりとなっている。変更点は以上のみである。質問内容は国から示されているものを使っており、基本的に5年前から変えていない。変えない理由としては、5年前と同じ質問をすることによって、どれだけ変化したか比較できるためである。続いて、資料3については、5年前は行っていない中高生向けのアンケートである。こちらについても国で示された質問内容をもとに作成する予定であったが、未だ示されていないため市の方で作成した。資料4のサービス提供事業者向けの調査も前は行っていなかったが、実際にサービスを提供している事業者にもご意見を伺う方がいいということで、今回が初めてとなるが調査を行う。この時間の中だけで意見を出し尽くすのは難しいので、もしご意見があれば、後日意見書を提出していただければと思う。

【寶川議長】

事務局から説明いただいた内容について、何か質問や意見はないか。

【横地委員】

前回のアンケートを決める時にも話題になったが、設問全体が困っていることを聞いており、ネガティブな内容になっている。良かったことや幸せだったことを聞いていないため、中高生に対しては学校が楽しいか、保護者に対しては逗子で子育てしてどこが良かったか、という前向きな設問をどこかに入れてもよいのではないか。また、質問をほとんど同じにした理由として、数年前との比較をするためというのは分かるが、5年経って変わった部分もあるので、鑑のお願い文を少し変える等した方がいいのではないか。これでは逗子の子育て支援に対するビジョンや意気込みが5年前と同じなのになってしまう。

【小野委員】

困っている人のニーズを掘り起こすなら、漢字が読めない人や横文字が分からない人向けに、フリガナをふったり分かりやすい表現にしたりしてもよいのではないか。

【渡部委員】

公立の小学校の支援級に通っている子は対象だが養護学校に通っている子は対象から外れてしまったり、障がいがある子は本人だけでの回答が難しかったりするため、障がい福祉サービスの事業者を通してアンケートを取ることや保護者が一緒に回答できる仕組みがあるとよいと思う。

【横地委員】

障がい者施設では観察評価というものがあり、施設の方の協力を得えながら答えていただくことも可能かと思う。5年前と同じ字体で開いた時に読みにくいと思った。ユニバーサルな字体等もう少し読みやすいように工夫した方がよいと思う。

【清水委員】

もし自分が中高生だとしたら、記載することで何か心の中にある悩み等が表面に出てくると思う。このアンケートは個人を救済するものではないと思うが、これを書くことで市が何かしてくれると期待す

るのではないか。本当に困っている子ども達に対して、どんな救済措置があるのかといったことも記載するとよいと思う。

【事務局（伊藤課長）】

資料3についても、資料1や資料2の最後に記載しているような形で相談窓口等の案内することを検討したいと思う。

【小野委員】

資料2は保護者のニーズを集めることを目的としているのか、それとも本人のニーズなのか。1枚目のお願い文には「お子さんについて、保護者の方がご記入下さい」とあるが、本人に聞かずに保護者の方が想像して回答する人もいれば、子どもに聞きながら回答する人もいると思う。出てくる回答は両方が混ざってしまうが、分析上は問題ないか。どちらのニーズ調査なのか明記すると回答する側も分析する側も分かりやすいのではないか。また、ニーズ調査なので、必要のないものは書かなくても良いのではないか。例えば、資料3の問3で学校名を記載する欄があるが、自分の学校名を記載すると答えづらい。分析上必要なければ中学生か高校生か、公立か私立かを聞けばよいと思う。

【事務局（鈴木係長）】

まず、質問の1つ目である小学生調査は、お子様の気持ちを汲み取りたいという想いはあるものの、小学校低学年の子が回答することは現実的に難しい。そのため、お子様の気持ちを汲み取って保護者の方に回答していただくということが理想と考えているものの、保護者の意見で回答するという方もいると思うが、それを排除するつもりはない。保護者の方がお子様の気持ちを汲み取って回答していただくよう強調してもよいと思うので、検討したい。2つ目の中学校高校の名前は分析上必要か確認し、必要なければ削除したいと思う。

【横地委員】

資料1問30－3等選択肢として、なぜ母親が先になっているのか。些細なことではあるが気にする人は気にするので、父親を先にして、あいうえお順にしたとすれば説明がつくのでは。

【渡邊委員】

未就学児のアンケートの調査対象は前回と一緒とのことだが、前はどのくらいの回収率だったのか。また、5年前にこのアンケートが実際に自宅へ送られてきたが、ボリュームがあって大変そうと思い回答しなかった。このアンケートは何分程度で終わるといった目安が書いてあると取り組んでみようと思えるのではないか。

【事務局（伊藤課長）】

未就学児の調査は、1,143件／2,104件で回収率は54.3%、小学生の調査は、1,271件／1,729件で回収率は73.5%であった。

【豊田委員】

資料1の未就学児を対象としたアンケートには最後の方に市がやっている事業等の記載があるが、資料2の小学生を対象とした方には記載がないのは何か理由はあるのか。小学生向けの調査にも同様に一覧があれば助かるという保護者の方もいると思う。

【事務局（鈴木係長）】

小学生の調査にも同じ内容を記載するか、未就学を対象としたものを省いて掲載するか、精査したいと思う。

【森委員】

先ほど話が出たWEBで回答できない人については、紙ベースでも回答できるようにするということがよいか。

【事務局（伊藤課長）】

その通りである。

【寶川議長】

中高生調査は、逗子市に住んでいる人が対象か。

【事務局（鈴木係長）】

逗子市以外に住んでいる人も含まれる。

【寶川議長】

逗子市の子育てについて検討するにもかかわらず、逗子市内のお子様を対象でなくてよいのか。

【事務局（鈴木係長）】

高校になると市外からの通学も多くなるので、逗子市のサービスを使えない人もいるが、限定しないで広く意見を聞きたい。

【寶川議長】

市内在住で市外に通っている高校生はどうするのか。

【事務局（伊藤課長）】

広報やホームページで周知し、WEBでの回答していただく方法を考えている。

【寶川議長】

他に何か質問や意見はないか。

（一同 特になし）

ご意見ご質問がなければ、議事を終了し、進行を事務局に返す。

閉会 以上により議事を終了し、令和5年度第3回逗子市子ども・子育て会議を閉会した。

※ 次回第4回の会議では、本日いただいた意見を反映したアンケート調査案を提示するのでご意見をいただく。また、もう1つの議題として、体験学習施設スマイルの指定管理者制度導入に向けた取り組みとしてコンサルティング業務を委託することになっている。その仕様書等を提示するので、そちらもご意見をいただく。

10 署名

議事の経過及び結果を明確にするためこの会議録を作成し、会長及び議事録署名人は次に署名する。

会長

会議録署名人

会議録署名人
